

# 寺方小学校・南小学校統合校ワークショップ

## かわら版 Vol.1

2015.4.16

平成27年4月16日(木)19:30より、第1回寺方小学校・南小学校統合校ワークショップを、寺方小学校4階図書室で行いました。

統合校連絡会、教職員連絡会の委員の皆様、そして地域住民の皆様に、お忙しい中、そして短い時間にもかかわらず集まっていただきました。

この地域を良く知る皆様ならではの、とても貴重な意見がたくさん集まり、楽しく有意義なワークショップとなりました。

### ◆ワークショップ テーマ

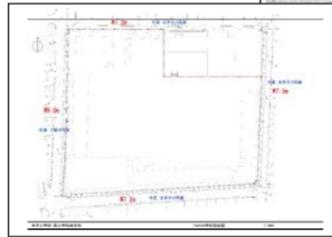
- ・本敷地の読み解き
- ・地域にとっての統合小学校の校舎のあり方

6班に分かれ、全員で考えました

敷地の形は？

敷地周辺は？

地域にとってどうあるべき？



使用した資料



各班の発表を、みんなで真剣に聞いています！

### ◆こんな意見が出ました

#### 敷地や地域の良いところ

- ・整形で、計画のしやすい形状
- ・鶴見緑地や大枝公園など、緑豊かな公園が近くにある
- ・町会単位での集まりが多く、知れ合いが多い

#### 登下校について

- ・正門の位置と箇所数
- ・保育所の送り迎えの車による混雑
- ・樟風中学校の通学路との交差
- ・学校周辺の歩行の安全確保

#### 近隣との関係について

- ・近隣との視線交錯への配慮
- ・騒音への配慮、音楽室の位置や防音対策
- ・保育所との連携
- ・地域に対してオープンな空間、使いやすい空間



#### 災害時について

- ・液状化対策
- ・高齢者の避難のしやすさ
- ・淀川の氾濫時の対策
- ・屋外で避難できるスペース
- ・備蓄倉庫



#### 地域について

- ・夜間照明を設け、夜間でも地域利用できる学校
- ・守口大根など、地域の特産物の栽培
- ・ちょうちん踊りなどの無形文化財を伝える役割
- ・地域コミュニティが拡大するので、お祭りなどの地域行事を合同で盛り上げたい

#### その他

- ・シンボルツリーがあるとよい
- ・落葉樹で四季を感じられる学校
- ・敷地の大きさに対して児童の密度が高くなるため、校内の遊び場の確保
- ・グラウンドの水はけ
- ・将来の児童増加に対応できるフレキシブルな計画
- ・自然と共生できる学校、ビオトープ

参加者全員でつくりあげました！

### ◆ワークショップのまとめ



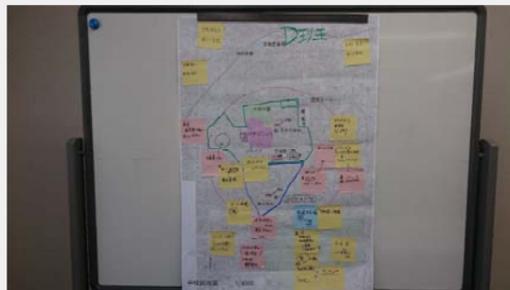
A班



B班



C班



D班



E班



F班